

産業デザイン工学実習

学科・学年	産業デザイン工学科・2年	単位数	4	教科書・教材	デザイン技術（海文堂出版）
-------	--------------	-----	---	--------	---------------

1. 学習の目標

デザインの各分野の基礎的な知識と技術を、実習を通して、実際に活用できる応用力に結び付ける。

2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
ガイダンス	<ul style="list-style-type: none">・デザイン実習について、取り組み方やルールを理解する。・4パート（デッサン・MAC・平面・模型）をローテーションで行う事を理解する。
ローテーション課題 ・デッサン ・Mac ・平面 ・模型	<ul style="list-style-type: none">・基本的な課題で、道具、材料の特性を学習する。・材料の特性を実践で身につけていく。・アイデアを考え、構図と構成の意味を理解する。・アイデア出しから完成までの作品制作の流れを体得する。・基本を元に、実践による計画的な作品制作をする。・作品についてまとめ、相手に伝わるように発表する能力を身につける。・それぞれの完成した作品を発表し、鑑賞・講評することで次の課題を見つけていく。
選択課題 テーマに沿って、B1プレゼンテーションパネルを制作する。	<ul style="list-style-type: none">・3年の選択実習に合わせて、テーマ選択をする。・各テーマに合わせてアイデア展開をし、B1プレゼンテーションパネルを制作する。

3. 担当者からのメッセージ

この実習は1年生で学習した工業基礎の知識や技術をより発展させて、デザインを合理的に計画し表現できる力量を高めていきます。作業に意欲的に取り組むことで、良いデザインやオリジナル作品が生まれます。また、この1年間に体験したパートの中から来年は1パートを選択して卒業制作に取り組みます。

産業デザイン工学製図

学科・学年	産業デザイン工学科・2年	単位数	2	教科書・教材	デザイン製図（実教出版）
-------	--------------	-----	---	--------	--------------

1. 学習の目標

製図に関する日本工業規格及び工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、制作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。

2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
<ul style="list-style-type: none">・デザイン製図用具の使い方・製図の規約・線の練習・線、角の等分・図学の基礎・三角法の作図・等角図の作図・断面図・展開図・副投影法の基礎・平面図示の練習・基礎製図の取り組み・実寸、実角の求め方・六角柱・六角すい・立体図法・立体の切断・展開図	<ul style="list-style-type: none">・製図器の正しい使い方を覚える。・製図室のルールとドラフターの使い方を覚え扱う事ができる。・製図と規格 J I Sにおける製図総則製図用具製図に関する規格について理解する。・線の種類と用途、破線などのピッチについてよく覚える。・基礎製図検定に対応できる力を身に付ける。・平行投影の概念について理解する。・象限と図示されるものの違いを理解する。・演習を充分に行う。・測定値との検証をする。・記入方法については徹底して覚える。・分度器で完成した図を検証する。・様々な角度の投影図を作図する。・菓子のパッケージなどの展開図を作成する。・線の太さや形を意識して、見やすく美しい図面になるように心掛ける・建築製図の基礎基本を理解する。・図面の作成及び製作情報を読み取る力の向上を目指す。・パース点景の着彩基礎を学ぶ

3. 担当者からのメッセージ

デザインの表現方法の一つである製図は確実に身に付けるべき学習内容です。
製図がよめ、かけることで、ものづくりの幅が広がります。

デザイン実践

学科・学年	産業デザイン工学科・2年	単位数	4	教科書・教材	デザイン実践（実教出版）
-------	--------------	-----	---	--------	--------------

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの技術に関する基礎と、その応用の技術を学ぶ。実際に創造し応用する能力を育てる。
--

2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
<ul style="list-style-type: none"> ・デザインと創造活動 <ul style="list-style-type: none"> ア デザインの概要 イ 形態観察と表示 ・ビジュアルデザイン <ul style="list-style-type: none"> ア ビジュアルデザインの概要 イ グラフィックデザイン ・プロダクトデザイン <ul style="list-style-type: none"> ア プロダクトデザインの概要 イ 生活器具のデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のデザイン事例などを通して、工業技術の進展に対応し工業生産及び社会や生活における諸課題の解決に向けたデザインの役割について具体的に理解する。 ・製品デザインの企画、宣伝の企画及び市場調査などの具体的な事例を通して学習する。 ・造形の心理及び人間工学をデザインと関連付けて学習する。 ・工業生産にどのようにデザインが生かされているか知る。

3. 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・1年生で行った、デザイン実践の発展型の授業です。実際にものづくりを行いながら授業を展開していきます。色や形の持つデザインの美しさや重要性について体験しながら学習を行います。 ・デザイン実践で学んだことを3年生のデザイン材料と合わせて卒業制作に生かされるようにしっかり学習してください。 ・プレゼンテーションの機会をもうけ、みんなの前で発表することも学びます。
--

マルチメディア表現

学科・学年	産業デザイン工学科・2年	単位数	2	教科書・教材	表現メディアの編集と表現（実務出版）
-------	--------------	-----	---	--------	--------------------

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン活動における各分野において、パソコン・デジカメなどのマルチメディア機器を活用し、効果的な表現ができる知識と技術を習得する。 ・商品広告の制作を通して、市場調査・コンセプト・広告制作・プレゼンテーションまでの一連の商品広告の制作工程を理解します。
--

2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
<ul style="list-style-type: none"> ・情報メディアとコンテンツについて理解する。 ・視覚表現の要素について理解する。 ・文字デザインや商品広告の作品を制作し、デザインに関する技術を身につける。 ・Webデザインの基礎知識や基本操作を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学習した情報技術基礎をふり返り関連付けて、理解させる。 ・色彩の3要素（光・物体・視覚）について理解する。 ・文字には、言語としての側面、形としての側面がある事を理解する。 ・今までの映像技術の進化を知ること、なぜ絵が動き、記録できるかについて学ぶ。 ・Webコンテンツの特徴について学習する。

3. 担当者からのメッセージ

<p>この学習は、1年実習で身に付けた表現技術、デザイン技術で得た知識の応用編です。パソコン・デジカメなどのマルチメディア機器を活用し、実践的な制作者としての仕事を学びます。</p>

デザイン材料

学科・学年	産業デザイン工学科・2年	単位数	2	教科書・教材	デザイン材料（東京電機大学出版）
-------	--------------	-----	---	--------	------------------

1. 学習の目標

デザインに応じた適切な材料を選ぶ能力を身に付け、デザイン材料についての基礎的な知識を学びます。

2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
自分たちが生活をするうえで使用している多くの工業製品の材料について学習します。 (金属、プラスチック、紙、木、皮革、繊維など)	身の回りで使用している工業製品などに目を向けて、どのような材料を使用し、どのような工程で作られているのかを学び、より良い製品や別の材料が使用できないかなど自ら考える。(使用材料を通じて、なぜこのデザインなのかを学ぶ)

3. 担当者からのメッセージ

デザインとは「発想」を具体化することです。「こんなものがあったら・・・」を製品にすることです。その時にまず、考えることは「何を使ってつくる」ということでしょうか。効果的な材料を選び、実際に制作して使用することで、評価が決まってきます。大きさや形、色や加工方法まで考えるのが「デザイン材料」の学習です。いろいろ考えてみましょう。